〈日 本 株〉

10月の展望　中間決算発表で業績上方修正や株主還元の発表が増加しよう

需給逼迫の素材や非鉄、半導体、海運に期待

日経平均株価は8月27日から9月14日に約3,000円上昇し、31年ぶりの高値30,670円を付けた。急騰を支えたのは外国人投資家であり、8月30日～9月10日に現物で6,680億円、先物で1.05兆円と大幅に買い越した。一方、日銀は6月21日を最後にETFを購入していない。

好調な推移といえる日本株のリスクは、米国株調整の可能性と中国政府の経済規制にあろう。FRBのテーパリングの正式決定は、11月から12月なろうが、法人税やキャピタルゲイン税引き上げの議論に注意したい。中国の恒大集団問題は経営破綻が懸念されて長引くとみられるが、早期に救済策が取られた場合はポジティブ要因となろう。

10～11月にかけて発表される22.3期中間決算では、米中経済への不透明感はあるが、会社業績予想の通期上方修正や株主還元の発表が増えると予想される。自民党新総裁の政策期待だけでなく、良好な業績が改めて評価されよう。需給が逼迫する素材や非鉄、半導体関連のほか、運賃上昇が広がる海運などに期待したい。（9/27田部井）

9月の銘柄・業種別騰落率(8/31→9/24)

◆東証1部騰落率ランキング

～BEST10～

コード	社名	業種	騰落率
8103	明和産業	卸売業	150.1
3996	ｻｲﾝﾎﾟｽﾄ	情報･通信業	93.7
7868	廣済堂	その他製品	89.2
6335	東京機	機械	76.6
2760	東京エレデバ	卸売業	64.6
9107	川崎汽船	海運業	52.1
9110	ﾕﾅｲﾃﾃﾞ海	海運業	45.0
5707	東邦亜鉛	非鉄金属	40.7
8303	新生銀行	銀行業	37.7
3182	オイラ大地	小売業	37.4

～WORST10～

コード	社名	業種	騰落率
3031	ラクーンHD	情報･通信業	-29.6
4093	東邦ｱｾﾁﾚﾝ	化学	-16.5
9021	JR西日本	陸運業	-13.3
4666	パーク24	不動産業	-12.7
6541	グレイス	ｻｰﾋﾞｽ業	-12.4
8876	リログループ	ｻｰﾋﾞｽ業	-12.2
5901	洋缶HD	金属製品	-11.6
7956	ピジョン	その他製品	-10.3
3659	ネクソン	情報･通信業	-9.9
5332	ＴＯＴＯ	ｶﾞﾗｽ･土石	-9.3

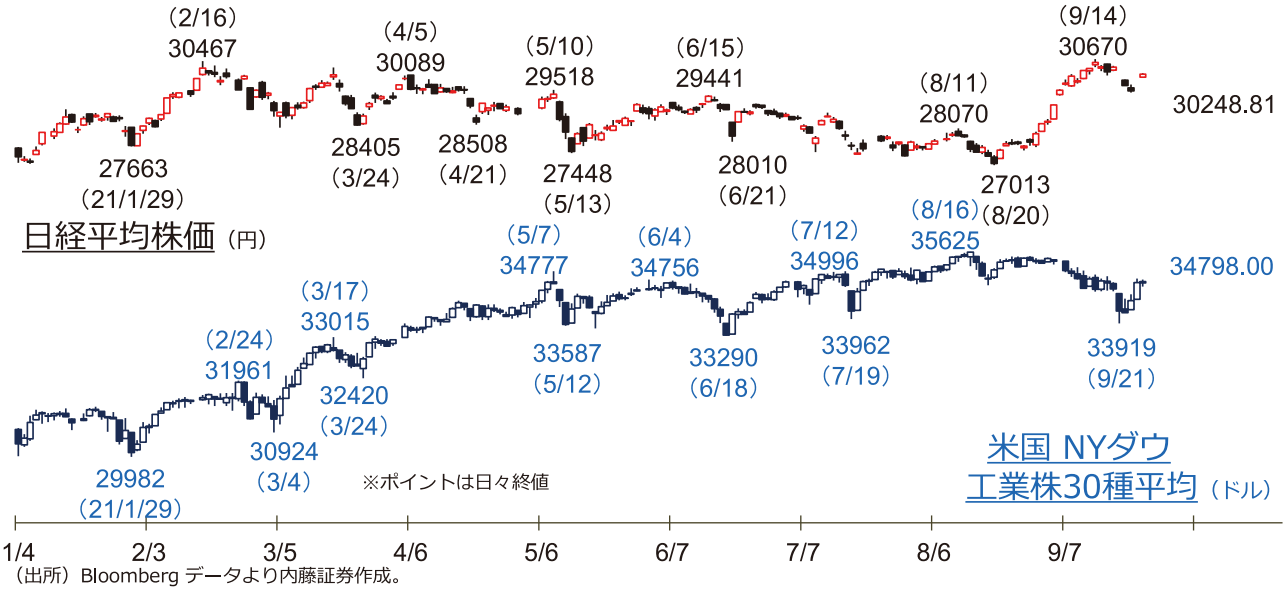
（注）売買代金25日平均上位5分の1を対象。
（出所）Bloomberg より内藤証券作成。

◆業種別騰落率

(%)

業種	騰落率
海運	24.5
電機	9.3
サービス	8.3
情報通信	8.2
精密	7.9
銀行	7.6
証券商品	6.8
建設	6.8
TOPIX	6.6
不動産	6.6
化学	6.6
小売業	5.6
電力ガス	5.2
食料品	5.2
医薬品	4.9
自動車	4.4
機械	4.3
卸売業	3.6
ｶﾞﾗｽ土石	3.3
繊維	3.1
陸運	2.4
非鉄	1.4
鉄鋼	-2.8

◆日経平均株価、NYダウの推移（日足、21年1月4日～21年9月24日）



（出所）Bloomberg データより内藤証券作成。

銘柄スクリーニング

PBR1倍割れの東証1部銘柄

◇実績PBRが1倍割れで、なおかつ、株価が年初来高値を更新した割安株

（選択条件）
・株式時価総額1,000億円以上、21.11月～22.3月に本決算を迎える東証1部企業。
・21年度の当期純利益（会社計画）伸び率が、前年比3.0%以上（赤字企業、赤字幅減少企業除く）。
・実績PBR（株価純資産倍率）が1倍未満（表示は小数点第3位四捨五入。参考：東証1部実績PBR1.39倍）。
・株価が9月に年初来高値を更新、または9月に付けた高値が年初来高値まで3%以内。
・9月24日時点の終値が週足の移動平均線（13週、26週、52週）よりも上に位置し、上昇基調または戻り歩調にある銘柄からチャート形状などを勘案して選択。

（データは9月24日現在）

※業績予想は変更される場合がありますのでご注意ください。

（円、百万円、%、倍）

ｺｰﾄﾞ	銘　柄	業　種	株　価 (9/24)	決算期	純利益 (21年度予想)	純利益 (20年度実績)	伸び率	1株当たり純資産実績	実績PBR
3231	野村不ＨＤ	不動産	2,957	22/3	49,500	42,198	17.3	3,229.8	0.92
3865	北越コーポ	ﾊﾟﾙﾌﾟ･紙	680	22/3	17,000	14,172	20.0	1,159.5	0.59
4095	パーカライ	化学	1,238	22/3	10,800	9,999	8.0	1,288.0	0.96
4118	カネカ	化学	4,795	22/3	22,000	15,831	39.0	5,473.9	0.88
4272	日化薬	化学	1,289	22/3	14,000	12,574	11.3	1,332.1	0.97
4471	三洋化	化学	6,030	22/3	9,000	7,282	23.6	6,371.8	0.95
4634	洋インキＨＤ	化学	2,155	21/12	8,500	6,019	41.2	3,589.2	0.60
6371	椿本チ	機械	3,655	22/3	12,500	8,706	43.6	5,019.4	0.73
6971	京セラ	電気機器	7,061	22/3	113,000	90,214	25.3	7,149.9	0.99
7966	リンテック	その他製品	2,712	22/3	12,500	11,407	9.6	2,722.9	1.00
8012	長瀬産	卸売	1,987	22/3	22,500	18,829	19.5	2,670.1	0.74
8051	山善	卸売	1,135	22/3	9,000	7,572	18.9	1,135.5	1.00
8078	阪和興	卸売	3,595	22/3	26,200	19,617	33.6	4,656.2	0.77
8098	稲畑産	卸売	1,798	22/3	16,000	13,792	16.0	2,887.3	0.62
8304	あおぞら銀	銀行	2,742	22/3	30,000	28,972	3.5	4,233.5	0.65
8306	三菱ＵＦＪ	銀行	668.3	22/3	850,000	777,018	9.4	1,308.1	0.51
8355	静岡銀	銀行	937	22/3	45,500	43,638	4.3	1,922.6	0.49
8424	芙蓉リース	その他金融	8,050	22/3	31,000	29,566	4.9	10,153.2	0.79
8425	みずほリース	その他金融	3,670	22/3	23,000	21,772	5.6	4,147.4	0.88
8566	リコーリース	その他金融	3,735	22/3	12,600	12,019	4.8	6,207.1	0.60
8584	ジャックス	その他金融	3,090	22/3	16,000	11,778	35.8	4,910.8	0.63
8591	オリックス	その他金融	2,120	22/3	250,000	192,384	29.9	2,487.8	0.85
8804	東建物	不動産	1,789	21/12	33,000	31,795	3.8	1,862.8	0.96
9072	ニッコンＨＤ	陸運	2,494	22/3	15,000	14,544	3.1	3,160.5	0.79

（注）業績予想は会社予想。
（出所）各企業決算短信、Bloombergをもとに内藤証券作成

（北原）

特　集　海運市場の動向

～ポイント～

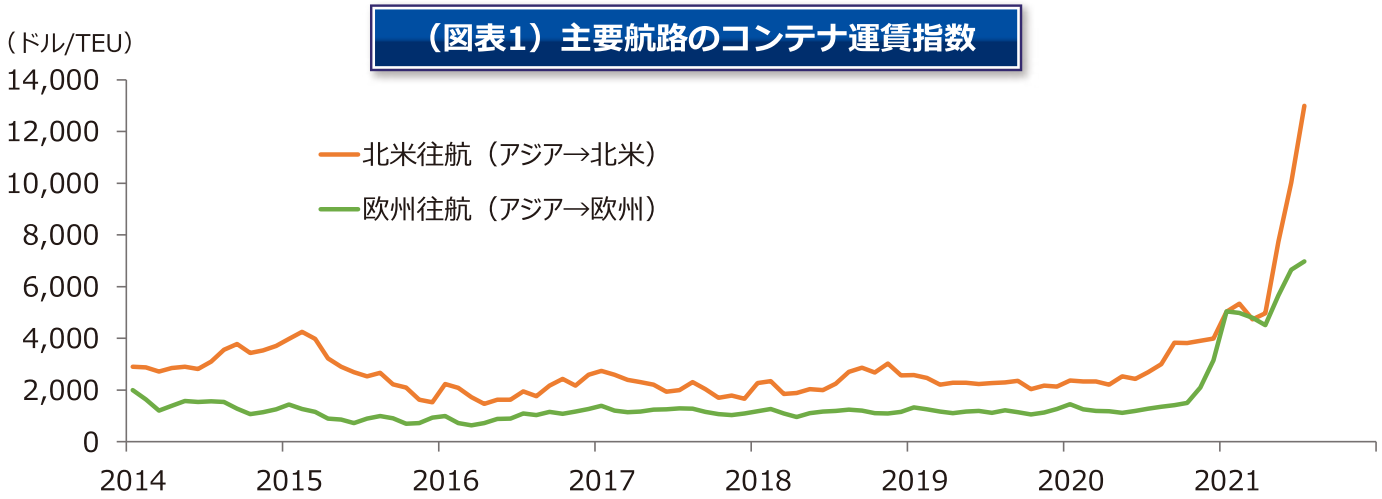
Ⅰ.海上運賃はコンテナ、ドライバルクともに上昇傾向
Ⅱ.バブル期、コモディティバブル期との株価上昇比較
Ⅲ.国際海運でも温暖化ガス排出削減のため燃費規制が強化

Ⅰ　海上運賃はコンテナ、ドライバルクともに上昇傾向

海上運賃が上昇している。海上コンテナ輸送量は中国発米国向けが過去最大規模に達している。一方、感染対策や労働者不足による港湾の混雑、陸上輸送との連携不足、空きコンテナの回送不足が連鎖し、アジア発北米向け運賃は7月時点で前年同月比4.8倍に上昇。過去最高値に達している。

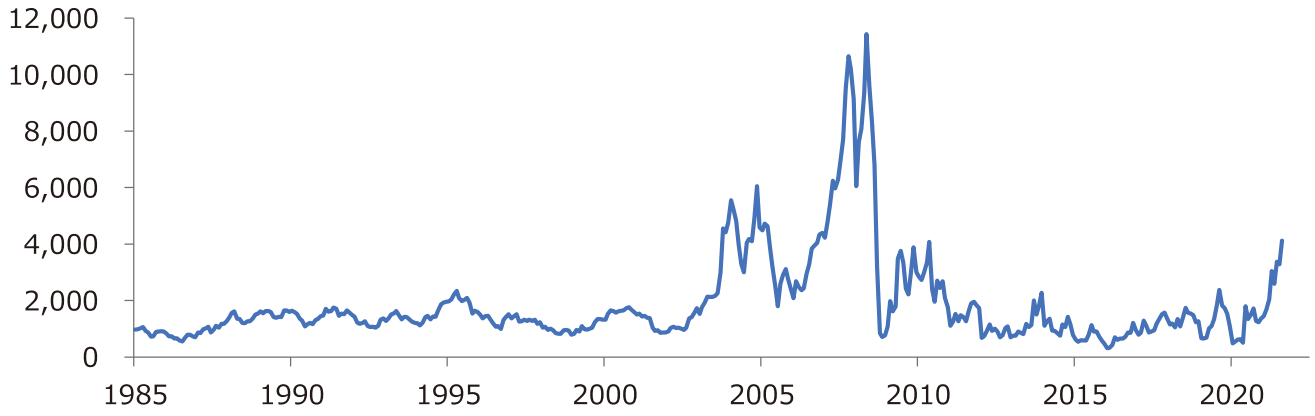
また、鉱石などを輸送するばら積み船用船料の指数であるバルチック・ドライ指数は2010年以来の高値へ上昇。鉄鉱石需要の回復や、感染対策による輸送日数の長期化などが船腹のひっ迫につながっている。

（図表1）主要航路のコンテナ運賃指数



（出所）日本海事センターより内藤証券作成（月次、21年7月まで）
（注）TEU＝20フィートコンテナ換算

（図表2）バルチック・ドライ指数

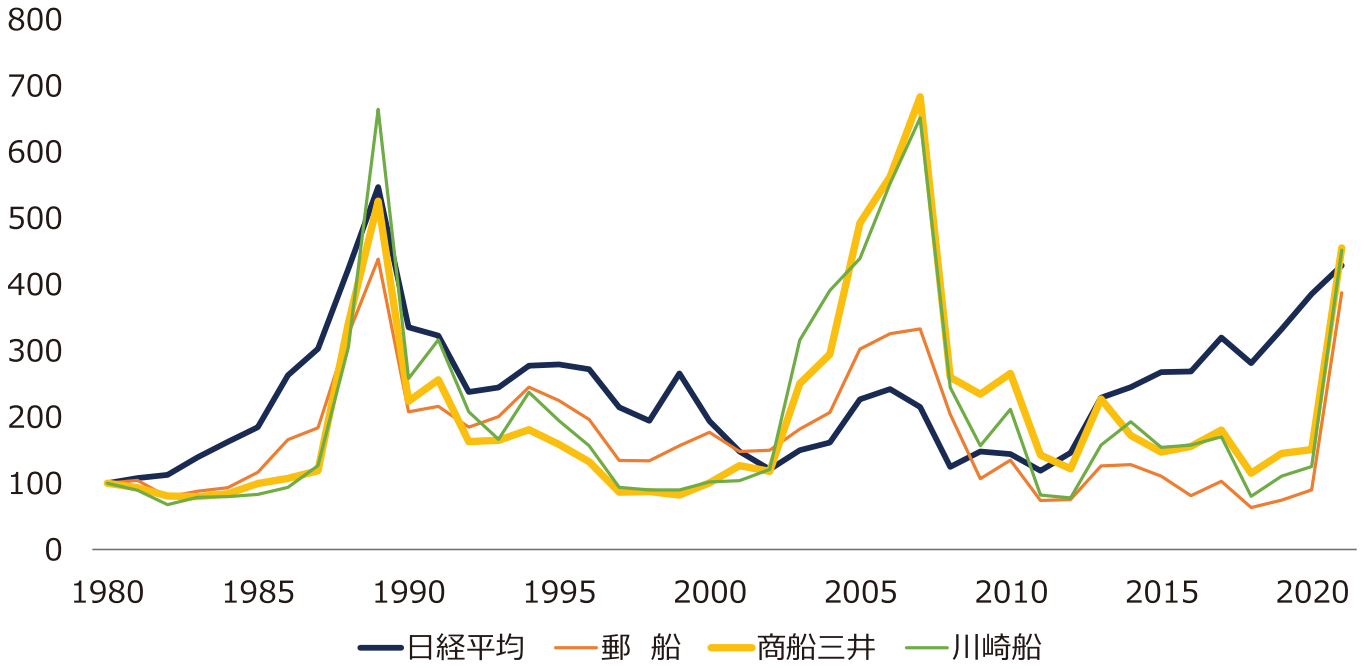


（出所）Bloombergより内藤証券作成（1985年初＝1000、月次　21年8月まで）

Ⅱ バブル期、コモディティバブル期との株価上昇比較

過去40年で海運株が急伸したのはバルブ期の1989年、コモディティ商品価格が上昇した2007年にかけて、そして今回である。図表3は1980年の株価を100として指数化したものである。

（図表3）主要3社の株価推移



（出所）QUICKより内藤証券作成（注）2021年は8月末での数値

主要3社の業績をけん引しているのは、ONE(オーシャン・ネットワーク・エクスプレスHD)である。ONEは3社のコンテナ船事業を統合して18年4月に事業を開始。北米航路に強みをもち、世界シェアは7位。

（図表4）主要3社の業容等

コード	社名	運航船舶規模	ONE出資比率	配当利回り	純利益			
					90.3期	08.3期	21.3期	22.3期CE
9101	日本郵船	684	38	6.36	105	1,141	1,392	5,000
9104	商船三井	721	31	5.57	137	1,903	900	3,350
9107	川崎汽船	442	31	—	26	830	1,086	2,650

（出所）QUICKより内藤証券作成（注）単位：隻、%、億円、CEは会社計画、数値は21年9月24日

Ⅲ 国際海運でも温暖化ガス排出削減のため燃費規制が強化

海運市況の活況を受け、新規の造船受注が増加しているが、船舶の需給緩和に直結するかは不透明だ。海上輸送においても温暖化ガス削減の取組が進み、国際海事機関(IMO)は国際海運全体で、2030年までに2008年比で平均燃費を40%改善、2050年までに総排出量を50%以上削減する戦略目標を示している。既存の大型外航船の燃費性能規制(EEXI規制)と燃費実績(CII)の格付け制度が2023年1月より導入、格付け基準は年次で強化される。今後は基準に適応した船舶の需給も海上運賃に影響しよう。

（大部、高橋）

IPO 米IT株軟調を受け、下旬は足踏み

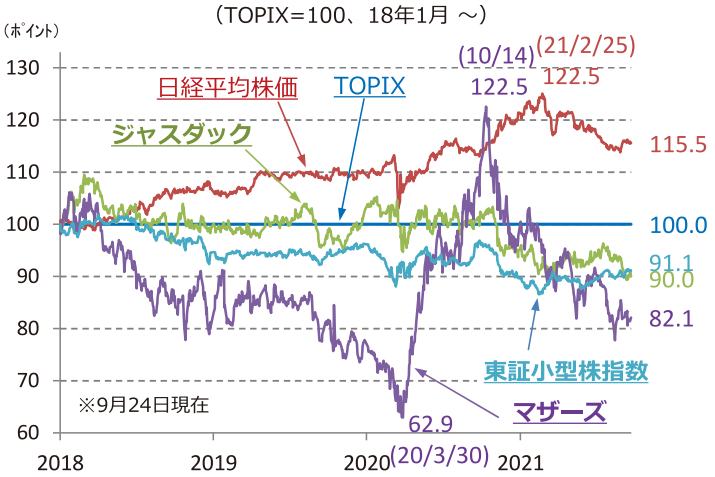
◆直近新規公開銘柄一覧 （21年9月28日現在、7月1日以降公開分）

（円）

	ｺｰﾄﾞ	銘　柄	公開市場	公開価格（決定日）	初値	その後の高値	その後の安値	事業内容	主幹事
7/6	7376	ＢＣＣ	MT	1,300	3,350	4,590	1,963	IT営業派遣等、ｼﾆｱのﾍﾙｽｹｱDX支援・PF提供	SBI
7/8	7792	コラントッテ	MT	1,100	1,385	2,005	972	家庭用永久磁石磁気治療器(医療機器)等	野村
7/16	4074	ラキール	MT	1,400	2,480	3,440	1,488	ｼｽﾃﾑ開発、ｸﾗｳﾄﾞ型ｿﾌﾄ開発・運用基盤の提供	野村
7/20	7378	アシロ	MT	1,160	1,480	1,515	728	弁護士紹介ｻｲﾄ運営、弁護士転職等支援	野村
7/21	2991	ランドネット	JQS	3,830	5,320	5,890	3,240	中古不動産買取販売・ﾘﾌｫｰﾑ、仲介、賃貸管理	SMBC日興
7/27	7379	サーキュレーション	MT	1,810	3,205	4,785	2,448	ﾌﾟﾛ人材の経験・知見で経営課題解決支援	みずほ
7/28	4075	ブレインズテクノロジー	MT	1,780	4,165	4,565	1,908	AI、IoTで業務の異常検知、企業内検索ｿﾌﾄ	SMBC日興
7/29	9240	ﾃﾞﾘﾊﾞﾘｰｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ	MT	950	1,472	1,723	826	ｸﾗｳﾄﾞ、AI、RPA、企業ﾃﾞｰﾀを活用しDX支援	SMBC日興
7/30	6227	ＡＩメカテック	T2	1,920	1,941	2,043	1,502	FPD・半導体ﾊﾟｯｹｰｼﾞ実装装置等、ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ	みずほ
8/20	4076	シイエヌエス	MT	1,940	3,010	3,035	1,750	ｼｽﾃﾑｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ、ｼｽﾃﾑｲﾝﾃｸﾞﾚｰﾀ・ｻｰﾋﾞｽ	東海東京
8/20	9241	ﾌｭｰﾁｬｰﾘﾝｸﾈｯﾄﾜｰｸ	MT	2,470	4,315	4,425	2,476	地域情報PF「まいぶれ」、ふるさと納税支援	岡三
8/24	7126	タンゴヤ	JQS	1,600	1,703	2,095	1,360	ﾒﾝｽﾞ、ﾚﾃﾞｨｰｽのｵｰﾀﾞｰｽｰﾂ・ｼｬﾂ企画販売	みずほ
8/27	2934	ジェイフロンティア	MT	4,190	3,560	4,700	3,210	ﾍﾙｽｹｱ商品通販・医薬品宅配、ｵﾝﾗｲﾝ診療等	SBI
9/2	4370	モビルス	MT	1,280	1,830	2,310	1,601	顧客ｻﾎﾟｰﾄ向けﾁｬｯﾄ・音声ﾂｰﾙをSaaSで提供	大和
9/2	9242	メディア総研	MT、FQ	2,900	3,105	4,395	2,432	高専生・大学生向け就職ｲﾍﾞﾝﾄの企画等	東洋
9/22	4372	ユミルリンク	MT	1,000	1,711	1,847	1,319	ﾒｰﾙ配信ｼｽﾃﾑ(SaaS)によるﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ支援	野村
9/22	4371	ｺｱｺﾝｾﾌﾟﾄ・ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ	MT	3,500	7,040	7,270	4,765	製造・建設業向けDX実現・IT人材調達支援	大和
9/22	4373	シンプレクス・ＨＤ	T1	1,620	1,660	2,270	1,650	企業のDX推進支援、ｼｽﾃﾑ開発・運用保守	SMBC日興・みずほ
9/24	4889	レナサイエンス	MT	670	976	1,015	712	医薬品、医療機器、AIなど医療ｿﾘｭｰｼｮﾝ開発	SMBC日興
9/28	4073	ジィ・シィ企画	MT	1,890	2,560	3,060	2,465	ｸﾚｶ等ｷｬｯｼｭﾚｽ決済ｼｽﾃﾑ開発、決済ASPｻｰﾋﾞｽ	岡三
9/28	9244	デジタリフト	MT	1,570	2,110	2,540	2,000	広告を状況変化に応じ設計・変更、広告ｺﾝｻﾙ	みずほ
9/28	4374	ROBOT PAYMENT	MT	1,860	3,725	3,995	3,305	ﾈｯﾄ決済代行・請求業務の自動化ｻｰﾋﾞｽ	SBI
9/28	9245	リベロ	MT	1,400	1,940	1,945	1,557	新生活ｻｰﾋﾞｽPFによる転居者・転勤者支援	SMBC日興
9/29	9246	プロジェクトカンパニー	MT	2,650	－	－	－	新規事業開発、効率化、ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ等DXｺﾝｻﾙ	SBI
9/29	4375	セーフィー	MT	2,430	－	－	－	防犯・監視・遠隔業務用ｸﾗｳﾄﾞ録画ｶﾒﾗｻｰﾋﾞｽ	SMBC日興・みずほ
9/30	6522	アスタリスク	MT	3,300	－	－	－	ﾓﾊﾞｲﾙ機器装着ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ・RFIDﾘｰﾀﾞｰ、画像認識	野村
10/7	4377	ワンキャリア	MT	9/29	－	－	－	就活ﾒﾃﾞｨｱｻｲﾄ運営、企業の採用DX支援	SMBC日興
10/8	9249	日本エコシステム	T2、M2	9/30	－	－	－	公営競技運営・保守、空調工事、交通ｲﾝﾌﾗ管理等	みずほ
10/14	6523	ＰＨＣ ＨＤ	T1	10/6	－	－	－	医療機器・ｻｰﾋﾞｽ展開、松下寿発祥＋三洋電	SMBC日興他
10/26	4378	ＣＩＮＣ	MT	10/18	－	－	－	調査・分析・運用等でWebﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ支援	SMBC日興

（注）T1は東証1部、T2は同2部、MTは東証マザーズ、M2は名証2部、JQSは東証ジャスダック・スタンダード、FQは福証Q-Board。
東証プロマーケット、リートを除く。　（出所）Bloombergデータ、各社HPより内藤証券作成。

◆新興市場指数等のレシオケーター
（TOPIX=100、18年1月 ～）



（出所）Bloomberg データより内藤証券作成。

◆過去3カ月間「上昇率上位」（公開後2年以内）
（21/6/30～9/27）

（%）

コード	社名	業種	市場	騰落率
7089	ﾌｫｰｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟｽ	サービス業	MT	217.7
7072	ｲﾝﾃｨﾒｰﾄ・ﾏｰｼﾞｬｰ	サービス業	MT	105.9
4169	ENECHANGE	情報・通信業	MT	87.4
4475	ＨＥＮＮＧＥ	情報・通信業	MT	82.7
4490	ビザスク	情報・通信業	MT	73.2
7373	アイドマ・ＨＤ	サービス業	MT	70.1
4485	ＪＴＯＷＥＲ	情報・通信業	MT	65.2
2983	アールプランナー	不動産業	MT	61.9
7082	ジモティー	サービス業	MT	59.6
7091	ﾘﾋﾞﾝｸﾞﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ	サービス業	MT	57.3

（注）経営統合、持株会社化による再上場、東証プロマーケットを除く。
3カ月前の月末より後の新規上場銘柄は初値からの上昇率。
（出所）Bloomberg データより内藤証券作成。

10月のスケジュール　新内閣発足、衆院選など政局に注目

日付	曜日	国内 時間	国内 指標・イベント名称	国内 対象期	海外 時間	海外 地域	海外 指標・イベント名称	海外 対象期
1	金	8:30	完全失業率・有効求人倍率	8月		中国・香港	国慶節（本土1～7日、香港は1日のみ）	
		8:50	日銀短観	9月	21:30	米国	個人消費支出･個人所得	8月
		8:50	日銀金融政策決定会合主な意見（9月21-22日分）		23:00	米国	ISM製造業景気指数	9月
4	月	8:50	マネタリーベース	9月				
5	火	8:30	都区部消費者物価指数（CPI）	9月	21:30	米国	貿易収支	8月
					23:00	米国	ISM非製造業指数	9月
6	水				21:15	米国	ADP雇用統計	9月
7	木	14:00	景気動向指数	8月				
8	金	8:50	経常収支	8月	10:45	中国	財新サービス業PMI	9月
		14:00	景気ウオッチャー調査	9月	21:30	米国	雇用統計	9月
11	月	15:00	工作機械受注（速報値）	9月		米国	コロンブス・デー（債券休場）	
12	火						G20財務相・中銀総裁会議（～13日）	
13	水	8:50	機械受注	8月		中国	貿易収支	9月
					21:30	米国	消費者物価指数（CPI）	9月
14	木					香港	重陽節	
					3:00	米国	FOMC議事録（9月21-22日分）	
					10:30	中国	消費者物価指数（CPI）	9月
					21:30	米国	生産者物価指数（PPI）	9月
15	金						世界銀行・IMF年次総会（～17日）	
					21:30	米国	小売売上高	9月
					23:00	米国	企業在庫・売上高	8月
18	月				11:00	中国	固定資産投資	1-9月
					11:00	中国	鉱工業生産指数	9月
					11:00	中国	小売売上高	9月
					11:00	中国	GDP	7-9月
					22:15	米国	鉱工業生産指数	9月
19	火				21:30	米国	住宅着工件数	9月
20	水	8:50	貿易収支（速報値）	9月				
21	木		衆議院議員任期満了		3:00	米国	地区連銀経済報告	
					23:00	米国	中古住宅販売	9月
22	金	8:30	全国消費者物価指数（CPI）	9月				
25	月							
26	火				23:00	米国	新築住宅販売	9月
27	水		日銀金融政策決定会合（～28日）		21:30	米国	耐久財受注	9月
28	木		日銀総裁定例会見		20:45	ユーロ圏	ECB政策理事会	
					21:30	米国	GDP（速報値）	7-9月
29	金	8:30	都区部消費者物価指数（CPI）	10月	18:00	ユーロ圏	GDP（速報値）	7-9月
		8:30	完全失業率・有効求人倍率	9月	21:30	米国	個人消費支出･個人所得	9月
		8:50	鉱工業生産指数（速報値）	9月				
30	土						G20首脳会議（～31日、ローマ）	
31	日						第26回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP26）（～11月12日、英グラスゴー）	
					10:00	中国	国家統計局製造業PMI	10月

（注）赤字は注目指標、緑字は中国関連指標、青字は休場、時間は日本時間。